

第9回日本公衆衛生看護学会学術集会 開催案内

第9回日本公衆衛生看護学会学術集会のメインテーマは、「公衆衛生看護の責任と実践～誰も取り残されない『社会的包摂』の実現をめざして～」です。私たちの社会は人口構造の変化や地域・家族の機能の変容に伴い社会的排除や健康格差が進行しています。それらの課題に共通している要素は、他者とのつながりへの信頼と期待の喪失です。「社会的包摂」とは、こうした孤立した人々のつながりを紡ぎなおし、一人ひとりを社会の構成員として認め合い、ともに暮らす地域社会をつくり出すことです。「公衆衛生看護の責任」は、健康格差と社会的排除にさらされている人々の困難と対峙し続ける姿勢と、全ての人々の健康の実現に向けて不平等の解消と社会的包摂を実現した共生社会をめざす努力であると考えます。

また、2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、全国の公衆衛生従事者がその拡大予防のため、献身的に活動をされています。それらをとおして、当たり前前の生活を守ってきた公衆衛生の機能を改めて地域の皆さんに伝える機会ともなっています。同時に、それらの感染症対策の影で、生活基盤の脆弱性や人々の孤立により、格差の拡大や課題の深刻化が進行している面も否めません。このような話題も含めて、本学術集会では、格差と排除が進行する今の時代にある私たちが堅持すべき責任を照射し、未来を切り開く公衆衛生看護の実践を語り合いたいと願っています。

本来は、2021年1月9日(土)～10日(日)の2日間、東京の地で、公衆衛生看護に関心を寄せる全国の皆さんと対面して意見交換を深めたいと考えていました。しかし、まだまだ次の新型コロナウイルス感染症の流行に備えるべき時であることから、本学術集会もオンラインで開催することといたしました。直接に対面できないことは、大変残念です。しかし、オンライン開催だからこそ、参加できる方々へと議論の輪を広げていける機会であるとも考えています。開催期間を延長し、ITに慣れない方にとっても、参加しやすい環境づくりを努力したいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

第9回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 大木 幸子 (杏林大学保健学部看護学科)

学術集会副会長 河西 あかね (東京都保健政策部/全国保健師長会)

メインテーマ : 公衆衛生看護の責任と実践

～誰も取り残されない『社会的包摂』の実現をめざして～

会 期 : 2020年12月25日(金)～2021年1月24日(日)

・2020年12月25日(金)より メインプログラム講演 掲載開始

・2021年1月9日(土)・10日(日) **メインプログラム質疑・意見交換**

・2021年1月9日(土)より 一般演題・ワークショップ掲載開始

会 場 : オンライン開催 (Web上)

Web サイト : <http://japhn9.yupia.net/>

後 援 : 厚生労働省、東京都、東京都特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、東村山市、全国保健所長会、全国保健師長会、日本看護協会、東京都看護協会 (予定・順不同)

事 務 局 : 杏林大学 保健学部 看護学科

MAIL : japhn9@ks.kyorin-u.ac.jp (各種お問い合わせ先は最終ページ参照)

演題・ワークショップ登録期間 2020年7月1日(水)～9月15日(火)

参加登録期間 2020年7月1日(水)～2021年1月4日(月)

(講演集印刷冊子は10月末まで入金済みの方に送付、以降はpdfのみ)

□ 会長講演

公衆衛生看護の責任と実践～誰も取り残されない「社会的包摂」の実現をめざして～

大木 幸子 (杏林大学保健学部看護学科 教授)

□ 基調講演

ハンセン病対策の歴史から保健師の活動を照射する～公衆衛生看護の責任と実践をふまえて (仮)

木村 哲也 氏 (国立ハンセン病資料館 学芸員)

□ 教育講演 1

私たちは思考し続けることができるか～ハンナ・アーレントから学ぶ～ (仮)

矢野 久美子 氏 (フェリス女子大学 教授)

□ 教育講演 2

水俣 (MINAMATA) の歴史に学ぶ公衆衛生の役割と責任

宮北 隆志 氏 (熊本学園大学 教授/水俣学現地研究センター長)

□ シンポジウム 1

貧困と孤立を越え地域に居場所を紡ぐために

生活困窮状況にある子どもと家族への保健活動～行政機関による子ども食堂を中心に～

藤田 恭子 氏 (上尾市健康福祉部生活支援課)

ハウジングファーストによる路上生活からの脱却への支援

稲葉 剛 氏 (NPO 法人つくろい東京ファンド)

HIV 陽性者のもつ生きづらさへの支援

生島 嗣 氏 (NPO 法人ふれいす東京)

居場所がない妊婦からの SOS

中島 かおり 氏 (NPO 法人ピッコラーレ)

□ シンポジウム 2 (助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団)

療養者・家族中心の地域包括ケアシステム構築 1～療養者・家族の意思決定を支える

ナラティブアプローチ～物語ることの意味～

宮坂 道夫 氏 (新潟大学大学院保健学研究科)

神経難病療養者と家族の療養生活の選択を支える

奥山 典子 氏 (東京都立神経病院)

ICT を活用した患者のものがたりと語りの共有による在宅医療

伊藤 伸一 氏 (秋田県医師会)

人生と生活に寄り添う支援への ICT の可能性

丹野 清美 氏 (国立病院機構東京医療センター)

□ 公衆衛生看護技術セミナー 1

実践の中にうめこまれた公衆衛生看護技術をみなおす

佐伯 和子 氏 (北海道大学)

□ 公衆衛生看護技術セミナー 2

公衆衛生看護の責任と技術を継承する～「宮本ふみ」が残した実践者へのメッセージ～

地域と住民によりそい協働する支援～宮本ふみさんと共に築いた活動 (仮)

塚原 洋子 氏 (保健師のための相談室 (なごみ))

宮本ふみ から学んだ「技術」と「姿勢」

佐野 信也 氏 (ふじみクリニック)

宮本ふみさんの実践から技術を抽出し継承する

市川 かよ子 氏 (東京都立神経病院)

先達の足跡から学ぶ保健師のまなざしと技術

三浦 千裕 氏 (東京都南多摩保健所)

「無名の語り」をとおして保健師教育課程で学生に伝える保健師の責任と技術

福本 久美子 氏 (九州看護福祉大学)

□ **公衆衛生看護技術セミナー 3**

無関心層へのアプローチ～誰も取り残さない健康支援～

仕掛け学による無関心層へのアプローチ

近藤 尚己 氏 (東京大学大学院医学系研究科)

健診未受診者への個別支援アプローチ

和泉 京子 氏 (武庫川女子大学)

□ **公衆衛生看護技術セミナー 4**

風水害発生の二次健康被害・災害関連死を予防するために～防災対策と災害保健対策の連携をめざし～

水害時の組織マネジメント～市内限局的水害を経験して～

松野 今日子 氏 (八王子市保健所)

災害関連死を予防するために防災対策の立場から期待すること

防災に関する専門家 (調整中)

防災担当部署との連携のために必要なこと～二次被害・災害関連死を予防するために～

奥田 博子 氏 (国立保健医療科学院)

□ **特別セミナー (助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団)**

介護者支援による地域づくり活動と保健師への期待

牧野 史子 氏 (NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン)

介護者 (調整中)

□ **パネルディスカッション 1**

DV 被害者支援と児童虐待予防との連携

家族支援としての DV と児童虐待の関連性

加茂 登志子 氏 (若松町こころとひふのクリニック)

虐待相談の中の DV 被害

川野 由紀子 氏 (東京都北児童相談所 前東京都女性相談センター)

母子保健活動における児童虐待予防と家族アセスメント

笠 真由美 氏 (杉並区こども家庭部地域子育て支援担当)

家庭内の暴力に学校はどのように向き合えるか (仮)

戸賀澤 亮子 氏 (前埼玉県立高校 養護教諭)

□ **パネルディスカッション 2 (助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団)**

療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築

～多様な課題をもつ療養者と家族を包摂する地域包括ケアシステムの構築～

難病療養者の生活課題と地域ケアシステム

岡田 美保 氏 (東京都多摩小平保健所)

HIV 陽性者の高齢化を踏まえて地域ケアシステムを考える

講師調整中

医療的ケア児の地域生活を支える地域ケアシステム

谷口 由紀子 氏 (淑徳大学)

障害児・障害者を支える地域ケアシステムづくり

相良 裕美 氏 (多摩市健康福祉部障害福祉課)

□ **その他**

シンポジウム 3

「災害とリスクコミュニケーション～福島第一原子力発電所の事故から 10 年を振り返る～」

特別企画

「新型コロナウイルス感染症対策における保健師の役割」

□ **企画展**

宮本ふみ企画展 「宮本ふみさんからのメッセージ」

ハンセン病資料館企画展 「ハンセン病の歴史を学ぶ」

水俣学企画展 「MINAMATA から学ぶ水俣学」

□ **一般演題、ワークショップ**

□ **学会活動報告 (会員集会)**

以上

上記は予定であり、変更となる可能性があります。詳細は Web サイトにてご確認ください。

オンライン開催の概要（予定）：

- PC やスマートフォン等により、自由な時間に講演や発表を視聴できます（一部期間限定あり）。
視聴には、通常の Web サイトを見る以外の特別なアプリケーションは不要です。
- 1月9～10日は、Web 会議システム等を利用してメインプログラムの質疑応答や意見交換を行います。
(Web 会議システムの利用方法は別途ご案内します)
- 一般演題やワークショップでは、それぞれの掲示板で質問や意見交換ができます。
一部のワークショップでは、Web 会議システムを利用した「オンライン自主集会」が開催されます。

過去に他のオンライン学会に参加した方の声

- 不安だったが、ログインしてみるとわかりやすかった。
- 遠方でも、交通費も移動時間もかからないので時間を有効に使うことができる。自宅から参加でき、自分のタイミングで見られる。感染リスクもない。
- 現地では重複する時間の発表を聞くことはできないが、興味ある発表をすべて見る事ができる。
- 発表スライドが大きく見られる。通常ならメモが追いつかないような部分も、何度でも繰り返し見られるので初心者にもよい。参加のハードルは下がるのでは。
- オンラインでも質問などで交流ができ、充実していた。
- 質問に対して、共同研究者と相談しながら時間に余裕をもって回答できた。
- オンラインといっても、学術集会の本質は変わらない。

参加の流れ

参加登録・入金

1月4日まで

※10月31日までの入金で講演集の印刷冊子を事前送付(学生以外)

▼

E-MailID・パスワード発行

ログイン

講演集PDFダウンロード・各プログラム・発表を視聴(12月25日～1月24日)

メインプログラム

12月25日

講演動画掲載開始

いつでも視聴・質問投稿可(一部期間限定あり)

1月9日～10日

オンラインにて意見交換

※ Zoom等 Web会議アプリやチャット等を利用

掲載終了 1月24日

一般演題・ワークショップ

【発表希望の方】

9月15日まで

学術集会Webサイトにて抄録の登録

※一般演題は、オンライン発表の他、誌上発表の形式の選択を可とします。
※ワークショップは、オンラインミーティングによる意見交換の場を設定することが可能です。

▼

12月25日まで

発表用PowerPointを登録

1月9日

発表用PowerPoint掲載・質問受付開始

※一般演題・ワークショップのいずれも各演題ごとに質問を投稿・返信を受けることができます。
※ワークショップは、世話人が設定している場合オンラインミーティングによる意見交換に参加することができます。(土日開催予定。日程は後日発表)

掲載終了 1月24日

オンライン開催ページを疑似体験していただける「オンライン開催デモページ」を学術集会 Web サイトで公開しています。自由にご覧ください。また参加方法や登録方法についてヘルプデスクも設置します。

学術集会の参加登録について

1. 参加費

参加種別	参加費	参加費の入金時期による講演集の扱い※ ¹	
		10/31 までの入金	11/1 以降の入金
会員※ ²	7,000 円	講演集：印刷冊子を事前送付 + pdf ダウンロード	講演集： pdf ダウンロード
非会員	8,500 円		
学生（院生除く）	2,000 円	講演集：pdf ダウンロード	

※¹：公費でお支払いの場合や入金日を事前連絡していただいた場合にも、実際の入金日により講演集の扱いを決定します。

※²：会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていない場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。

<講演集印刷冊子について>

- ・ 1部 2,500 円（送料込）にてどなたでも購入いただけます（売り切れの際はご容赦ください）。注文方法は後日 Web サイトでご案内します。
- ・ 10月31日までに学術集会参加費をお支払い済みの会員・非会員の方には、追加料金なしで講演集の印刷冊子を事前に郵送します。ご不要の方は参加登録フォームにてお知らせください。

2. 参加登録期間および方法

参加登録期間 2020年7月1日(水)～2021年1月4日(月)

- ・ 学術集会 Web サイトから、オンラインにてご登録ください。
- ・ 自動返信メールにて、登録番号と合計金額、振込先口座が通知されます。
- ・ 期間内に同封の払込取扱票か、郵便局に備え付けの青い払込取扱票でお支払いください。インターネットバンキングや郵便局以外からの振り込みも可能です。なお、請求書が必要な場合や、領収書についてのご案内は Web サイトに掲載しています。

留意点・お願い

- ・ 過去の学術集会に申し込んだ方も、第9回にご参加の場合は改めてお申し込みが必要です。
- ・ 入金時には第9回学術集会の登録番号を必ず記入してください（学会の会員番号とは異なります）。振込となる場合は振込人名の頭に番号を添えてください。
- ・ 参加登録期間内に学術集会参加費の入金を完了してください。学会員の年会費とは異なります。
- ・ ネットワーク上のトラブル、入金口座の間違いなどにより登録が完了しなかった場合でも、その責は負いません。
- ・ オンライン学術集会への参加方法の詳細は11月中に Web サイトに掲載しますのでご参照ください。また、オンライン開催ページを疑似体験していただける「オンライン開催デモページ」を学術集会 Web サイトで公開しています。自由にご覧ください。なお、参加方法等に関してはヘルプデスクを設置します。お気軽にご相談ください。
- ・ 入金済みの参加費については原則としてご返金は致しかねますこと、何卒ご了承ください。

3. 対象別入金〆切

対象	入金〆切
・ 演題の筆頭者、WS の筆頭世話人・共同世話人	9月15日（火）（演題・WS 登録期間内）
・ 講演集の印刷冊子を希望する方※	10月31日（土）
・ その他の方	1月4日（月）（参加登録期間内）

一般演題募集について

1. 一般演題について

以下の内容・形式の一般演題を募集します。感染症対応の繁忙状態を鑑み、本学術集会では誌上发表形式の選択を可とします。いずれの場合も、演題は発表時点で未発表のものに限ります。

項目	詳細
内容種別	<ul style="list-style-type: none">・活動報告 公衆衛生看護に関係する実践的な活動をまとめたもので、他地域で同様の事業を展開する者に参考になるような報告。 活動目的、活動内容、活動成果、今後の計画・課題等について報告する。・研究報告 公衆衛生看護に関係する調査・研究をまとめた報告。 研究目的、方法、結果、考察を論理的に報告する。
形式種別 ※12月に再選択可能 (右記は予定であり、変更の可能性があります)	<ul style="list-style-type: none">・オンライン発表 発表用 PowerPoint ファイルをオンライン開催ページに掲載する。参加者は1月9日から会期終了までいつでも視聴可能。各演題の掲示板で質疑等対応を実施。 (演題発表者は、12月25日までに発表用 PowerPoint ファイルを提出する。音声埋め込みの場合の分数やファイル提出方法は、査読結果通知時に連絡予定。)・誌上发表 講演集に掲載される演題登録時の抄録をもって発表とする。発表用 PowerPoint ファイルの作成不要。オンライン開催ページには事務局がタイトル・発表者と誌上发表である旨を表示する。各演題には掲示板があり、質問等を受ける場合があるが、質問への回答は必須としない。

開催方法やファイル作成・提出方法に関してはヘルプデスクを設置しますので、お気軽にご相談ください。

2. 応募資格

- 1) 筆頭者・共同発表者は全員、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、演題登録期間内に入会申込を行うこと。)
- 2) 筆頭者は必ず演題登録期間内に参加費を支払うこと。
- 3) 一般演題において、筆頭者となるのは1題のみ。
(複数演題の共同発表者となることは可能。ワークショップの筆頭者になることも可能。)

共同発表者には、演題登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2020年7月1日(水)～9月15日(火) 21時

登録方法：学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録(抄録本文1,000字以内)

- ・学会入会手続き中・会員番号不明の場合も登録が可能です。
- ・必ず倫理的配慮および利益相反についてご記入ください。倫理的配慮の記載例やその他の詳細は学術集会 Web サイトでご確認ください。
- ・登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- ・希望する発表領域を第2希望まで選択して頂きますが、調整の結果ご希望通りにならない場合がありますことをご了承ください。

4. 査読および通知

- ・ 体裁、内容、倫理的配慮、利益相反の観点で査読を行い、10月中旬頃に E-mail で査読結果をお知らせします。修正が必要な場合は10月中旬に修正して頂く予定です。
- ・ 発表演題群や演題番号は、11月中旬に E-mail および学術集会 Web サイトにてご案内します。
- ・ 発表用 PowerPoint ファイルの作成方法は、事前に Web サイトでお知らせします。12月25日までにファイルを提出していただく予定です。なお、開催方法やファイル作成・提出方法に関してはヘルプデスクを設置しますのでお気軽にご相談ください。

5. 優秀演題の選考について

- ・ 参加者の投票により優秀演題賞を選出し、表彰を行います。選考基準や方法は Web サイトでご確認ください。

ワークショップ募集について

1. ワークショップについて

<趣旨>

ワークショップは、公衆衛生看護のテーマについて、参加者との意見交換を通じて理解を深め、学び合う、双方向的な発表形式です。また、公衆衛生看護に関連した内容について、公衆衛生看護のテーマに関連する保健活動の担当者や研究者の交流を目的とした場とすることも可能です（例：新任保健師の交流集会、学校保健領域の交流集会等）。

（同窓会、宗教活動、単位認定を伴う研修会・講習会等をご遠慮ください。）

<開催方法>（予定であり、変更の可能性があります）

- ①「ファイル掲載」…**1月9日より**、発表用 PowerPoint ファイルをオンライン開催ページに掲載する。参加者は会期終了までいつでも視聴可能とする。
（世話人は、**12月25日まで**に発表用 PowerPoint ファイルを提出（複数可）。また、音声を埋め込む場合、全ファイルの音声分数の合計は40分以内とする）
- ②「随時意見交換」…WS 掲載期間は、発表用 PowerPoint ファイルの掲載ページに設置した掲示板・チャットシステム等を利用して Web 上で参加者との意見交換を行う。
（上記①、②に加えて、世話人は以下のいずれかの対応方法を選択し、集中的に意見交換を行う）
- ③-1「指定対応時間」…学術集会が指定する時間（土日、もしくは平日 18 時以降の「夕活枠」、いずれかの 1 時間程度）は世話人が②の掲示板・チャットシステムにてリアルタイムに対応する。
- ③-2「オンライン自主集会」…Zoom、meet 等、Web 会議システムを用いたオンラインミーティングによる意見交換を希望する場合には、世話人が自身でミーティングを設定し、学術集会事務局にオンラインミーティングのアプリ種別・URL・パスワード・日時等の告知用の情報を連絡する。（日時は、学術集会事務局が時間枠を設定して事前に調整させていただきます。オンライン開催ページへの告知掲載は学術集会事務局が行います。）

なお、開催方法やファイル作成・提出方法に関しては、ヘルプデスクを設置しますのでお気軽にご相談ください。

[留意点] 類似内容の申込がある場合には、プログラム委員会での審議の上、企画委員会で抽選とさせていただきます場合があります。また、研究成果ならびに最近の実践活動上のトピックスに関するディスカッションを目的としたもの、類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。

2. 応募資格

- 1) 筆頭世話人・共同世話人は全員、本学会の会員であること。
(非会員の場合は、WS 登録期間内に入会申込を行うこと。)
- 2) 筆頭世話人・共同世話人は全員、WS 登録期間内に参加費を支払うこと。
- 3) WS において、筆頭世話人となれるのは1題のみ。
(複数 WS の共同世話人となることは可能。一般演題の筆頭者になることも可能。)
- 4) 同一グループからの応募は1件に限る。
- 5) 共同世話人がいることを原則とする(筆頭世話人のみでの申込は不可)。

共同世話人には、WS 登録前に必ず本学会入会への同意を得てください(学会の年会費が必要となります)。入会手続きについては学会 Web サイト (<https://japhn.jp/>) の「入会案内」をご参照ください。

3. 登録期間および方法

登録期間 2020年7月1日(水)～9月15日(火) 21時

登録方法：学術集会 Web サイトから、オンラインにて登録(抄録本文 1,000 字以内)

- ・ 抄録に記載する内容等の詳細については Web サイトにてご確認ください。
- ・ 登録期間中は何度でも修正が可能です。詳細は登録後の自動返信メールをご覧ください。
- ・ 本学会の過去の学術集会において、同様のテーマで WS を実施されたことがある場合は、過去の企画内容と今回の応募内容の関連性や発展性について抄録にお書きください。
- ・ 類似のテーマで他の学会等で実施していない企画を優先します。実施されたことがある場合は、登録フォームにて申告してください。

4. 選考および通知

- ・ 内容、抄録の構成、倫理的配慮の適切性等の観点で選考を行い、10月中旬頃までに E-mail で採否結果をお知らせします。抄録の修正が必要な場合は10月中旬に修正していただく予定です。
- ・ 開催方法に記載した③の実施時間については、10月中旬に確認・調整をさせていただきます。
- ・ WS 番号は11月中旬に E-mail および学術集会 Web サイトにてご案内します。
- ・ 発表用 PowerPoint ファイルの作成方法は、事前に Web サイトでお知らせします。12月25日までにファイルを提出していただく予定です。なお、開催方法、ファイル作成や提出方法に関してはヘルプデスクを設置します。お気軽にご相談ください。

●第9回学術集会の参加・演題登録等に関するお問い合わせ・ヘルプデスク

第9回日本公衆衛生看護学会学術集会運営事務局

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 (株) ユピア内

TEL 052-872-8101 (平日 10-16 時) FAX 050-3737-7331 E-Mail japhn9@yupia.net

●学会入会・学会年会費に関するお問い合わせ

一般社団法人日本公衆衛生看護学会 事務支局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西印刷(株)

TEL 075-415-3661 FAX 075-415-3662 E-Mail japhn@nacoss.com

日本公衆衛生看護学会ホームページ <https://japhn.jp/>

[開催中止の判断について] 感染症の流行等や災害により開催自粛や中止が必要な場合、日本公衆衛生看護学会理事長と協議の上速やかにオンライン開催中止を決定し、学術集会を講演集による誌上発表に切り替えます。中止決定は学術集会 Web サイトに緊急掲示するとともに、各演者等にはメール等でご連絡いたします。